

平成
30年度

どう生かすかまちの税金

予算総額 416億8千万円を審議、可決

1 市長、平成30年度予算の説明

2月9日、平成30年度予算審査にあたり市の施政方針が表明され、「東松島市第2次総合計画」の重点施策に基づき①安全・安心に暮らせる防災自立都市づくりの推進②若い世代の定住促進③産業振興の推進等の基本方針が示されました。具体的には①安全な防災や減災へのまちづくりを進めるため自主防災組織の意識向上や、行政との連携強化による防災体制の充実を図る②待機児童解消策など子育て世代が安心して定住できる施策③市長就任当初から力を入れている企業誘致による雇用創出対策等の施策を積極的に行うとされています。

また分野別施策としては第2次総合計画にある8つの施策を引き続きまちづくりの目標として示されます。

総額416億8千万円
前年度比240億9千万円減

はじめに、市長が本会議（議場）で当初予算の説明を行いました。

その後、全議員で構成する財務常任委員会で当初予算の審査を行いました。

これらの事業執行に要する予算は、一般会計と国民健康保険特別会計ほか復興にかかわる特別会計を含め8会計で成り立っています。総額も年々減額となり、今後はより効果的、効率的な行財政運営が大きな課題となります。なお、事業費の内訳は別表の各種会計のあらましを参照してください。

平成30年度各種会計のあらまし

(単位：千円)



▲矢本パーキング隣接の百合子線を現場視察

会計区分	30年度 予算額	29年度 予算額	増減額	前年度比較	
一般会計	292億8,000万0	431億	△138億2,000万0	△32.06%	
特別会計	国民健康保険	46億4,748万3	52億8,605万6	△6億3,857万3	△12.08%
	後期高齢者医療	3億6,565万6	3億4,222万0	2,343万6	6.85%
	介護保険	30億2,885万1	29億9,020万8	3,864万3	1.29%
	農業集落排水事業	1億2,782万1	1億3,587万9	△805万8	△5.93%
	漁業集落排水事業	830万1	884万5	△54万4	△6.15%
	下水道事業	34億1,596万8	114億6,792万4	△80億5,195万6	△70.21%
	大曲浜地区土地区画整理事業	8億1,294万1	13億76万3	△4億8,782万2	△37.50%
野蒜北部丘陵地区土地区画整理事業	0	11億4,820万0	△11億4,820万0	皆減	
(特別会計小計)	(124億702万1)	(226億8,009万5)	(△102億7,307万4)	(△45.30%)	
合計(一般会計+特別会計)	416億8,702万1	657億8,009万5	△240億9,307万4	△36.63%	